

プロジェクト名	成果	課題
<p>国民生活センター 研修事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西、中国・四国地域の受講対象者に対する研修参加機会の拡充</li> <li>・徳島県で熱心な取組がみられる消費者教育や地域の見守り、倫理的消費にちなんだ研修の実施</li> <li>・地元の大学におけるフィールドワークを取り入れた「徳島オリジナル研修」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「徳島オリジナル研修」を含め、徳島で実施した研修1回当たりの受講者数と、相模原及び徳島以外の地方で実施した研修1回当たりの受講者数を比べると、徳島実施の研修の受講者数がかなり少ない結果となっている。このため、引き続き研修内容の充実を図るとともに、県等の協力を得ながら、交通アクセスの確保(無料送迎タクシーの継続的配車等)や各研修の募集時期・方法の工夫が課題。</li> <li>・なお、徳島での研修事業の実施に当たって、職員を常駐させて運営を行うことは、相模原事務所や地方で行う研修事業への影響が大きい。</li> </ul>
<p>国民生活センター 商品テスト</p>	<p><u>* 徳島県を実証フィールドとした「地震による転倒の防止策 - 電気給湯設備の貯湯タンクと家具・家電について -」を実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島県や徳島県消費者協会等の協力のもと、実証フィールド調査を実施</li> <li>・電気給湯器等の貯湯タンクの設置状況を県内のモニター家庭(100世帯)で実施。その結果を踏まえ、設置の仕方による地震の影響をテストし、地震時の転倒防止策を全国の消費者へ記者発表やホームページを通じて情報提供</li> <li>・国土交通省の告示に基づく設置が行われていなかったものについては、特定行政庁より告示に沿うよう改善指導が実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震による転倒防止策において、徳島オフィスでは、実証フィールド調査を行い、テスト等は徳島県外で実施したため、徳島オフィス外で行う業務が多かった。</li> <li>・実証フィールドの必要な商品テストは限られており、また、徳島県のみを実証フィールドとして活用し、全国展開できるテーマを継続的に選定することは、全国的な代表性の観点から限界がある。</li> <li>・なお、相模原における商品テスト業務量を踏まえると、徳島オフィスに職員を常駐させることは効率的でない。</li> </ul>